



Autumn

2025 チェリー通信

10月号



10月 イベント情報

- 1日（水）運動会（アンドロメダ）
- 2日（木）運動会（ホワイト）
- 3日（金）運動会（オレンジ）
- 5日（日）泉チェリー開園20周年イベント
- 7日（火）サッカー教室（ペガサス・オリオン・オレンジ）
- 9日（木）避難訓練
- 10日（金）音楽教室
- 15日（水）遠足（アンドロメダ）
- 16日（木）遠足（3歳）
- 20日（月）遠足（カシオペア）
- 21日（火）体育教室（アンドロメダ・ホワイト）
- 22日（水）消防総合訓練
- 29日（水）交通安全教室
- 31日（金）音楽教室（オリオン・アンドロメダ）

〇〇先生のおすすめ

今月は園長 工藤俊平 のおすすめをご紹介します！

おすすめ紹介をするコーナーではありますが、
私の夏の体験について自由研究（考察）発表を
させていただきます。

※9月のチェリー通信ページ数超過のため、9月
掲載予定だったものを載せています。

[夏の自由研究]

- ひと夏の体験
- 真夏の大冒険
- 大冒険に仮説
- THE夏祭り
- 園長の誤算！？



野外体験と夏祭り

●ひと夏の体験・・

この夏の体験は野外体験と夏祭りだったわけですが・・ただキャンプをして夏祭りを楽しんだ、という話ではありません。どちらも当園、泉チェリーこども園の行事としての実施者としての体験です。

・・仕事、ではあるのですが、結論的には心地よい疲労感の中、家族で体験するような喜びと思い出にあふれる体験となりました。

●真夏の大冒険

大冒険を行った野外活動は年長児のみで毎年実施している”野外活動”という行事です。

今年は行先を心機一転し”もりのようちえん”を謳っているAONEMATOKAというキャンプ宿泊施設です。

普段生活している都市部では決して体験できない要素がたくさんあり、写真で紹介しているのはその代表的な活動場面です。



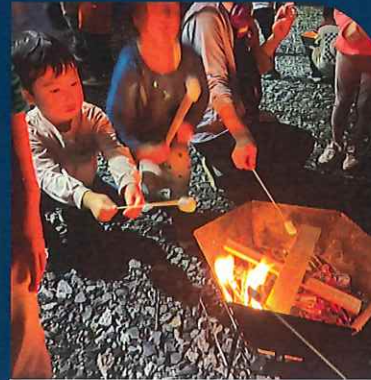
森林探索

蔵王の麓、きれいに整えられた公園ではなく、人の出入りによって踏み固められた”足跡”が頼りの森林。雨でぬれた木々を揺らすと天然のシャワーが降り、倒木は天然のアスレチックとなる体験。



カヌー体験・沢遊び

大人も子どももほとんどが未経験。未知のワクドキ体験はまさに大冒険。晴れ間、スコールが繰り返し、山の天気の変化。これもまた自然体験の醍醐味。



花火・マシュマロ焼き

火の力、使い方、怖さを感じながらとろけるおいしいマシュマロを食べることができる貴重な体験。

大変だったんです・・

初めての場所で勝手もわからず、そして気候も高温多湿、晴れたり、大雨が降ったり・・山なので虫が多く、特に多かったのがアブ。限度があるだろ！と言いたくなるほどの一面のアブ（室内が特に多かった・・）自然界なので人の好みや都合に合わせて虫が登場するわけでもないのに、苦手でない人でも驚いてしまうような環境でしたが・・でもそれを凌駕する楽しさと喜びがありました。大人と子どもが同じレベルで一喜一憂し、五感が刺激（時に酷使・・）され、驚きと興奮に包まれる体験はまさに真夏の大冒険。

ドラマチックだったのは最後の花火。大量に買い込んだ市販の花火ですが、真っ暗な山の校庭で行うととても幻想的で、一つ一つはそれほどの迫力ではない打ち上げ花火も、次々と広い夜空に打ち上げられる様は日常生活からはかけ離れたひと夏の体験。保育者として観ている景色は花火だけではなく、それを見て目を見開き感動している、花火の光に照らされた子どもたちの表情。そして同じように見守っているはずの保育者たちも子どものそばで同じように目を見開き感動した姿でした。

最後の打ち上げ花火が消えてなくなると真っ暗闇・・しかしそのあとにはまた花火が上がったのかと見間違ふほどの満点の星空。「あ、お星さまだ～！」と自然に上がる歓声。

仕事として帯同参加した野外活動でしたが、間違いなく2025年の私の夏の思い出の一つとなりました。

夏の思い出・夏祭り

もう一つの思い出は夏祭り。こちらも
地域のお祭りではなく、園で行った保
育としての夏祭り。

保育者としては仕事なのですが..？



かつての夏祭り

かつては親子で楽しむ”園行事”と言う形式で行っていた夏祭りでしたが、保育の一環で行っていることがネックとなり、時間、場所、回り方など非常に制限が多く、システム化、固定化されたものでした。

夏祭りを銘打っているので、地域の本物の夏祭りを感じてほしいと考え、3年前、本物のお店（飲食、雑貨）を出店し、参加の仕方も自由に、地域で行われているお祭りと同じ感覚で楽しむことのできる地域開放型の夏祭りを実施しました。

これはこれで大成功（だったと思う…）でしたが、そこからさらに夏祭りは進化しており、今年の夏も進化版の夏祭りが実施されました。



原点回帰からの進化

地域開放型もよかったのですが、あらためて保育としての夏祭りを検討したい！、子どもが子どもとして自由に楽しむ、こども園ならではの夏祭りをしたい！という保育者の発信から、再度夏祭りのコンセプト、方法が再検討されたのが2年前。

かつてのような固定化、設定化された形ではなく、子どもが自分で選択しながら楽しむことのできる夏祭りを計画。

また、“本物”についても前例踏襲し、かき氷とわたあめ、昆虫触れ合いやスライム体験など本物を用意。

職員やボランティアの学生が出店者になり、子どもだけがお客さんになり、夏祭りを展開するようになりました。



普段園では見ることのできないわたあめ機やかき氷機に目を輝かせながら、自分の好きなものを選び、遊び、食べ、大人が本気になって披露するお楽しみに自然と人だかりができ、時間の許す限り楽しみ尽くす夏祭り。

この夏まつりは”夏祭りの本物”ではないかもしれません。

しかし、喜び、楽しみ、選ぶ子どもの姿はまぎれもない本物であり、100%”夏祭り”を楽しんでいました。

私にとっては仕事である保育の中の夏祭りですが、このひときは子どもの姿が生き生きとし、ほほえましく、本物の夏祭りが一番と思っていた私の想像を超える夏祭りが、職員の発案から生まれ、展開され続けていることに、この上ない喜びを感じる夏の思い出となりました。



今月のきらびと

齋藤美羽先生



保育者としてのキャリアは2年半の若手保育者ですが、プライベートでの新たな楽しみ、喜びの発見と気づきがあり、またそれを保育にも活かそうとしている姿がキラキラとしておりましたので紹介させていただきます。

マイブーム発見！

ディズニー



新登場

サウナ

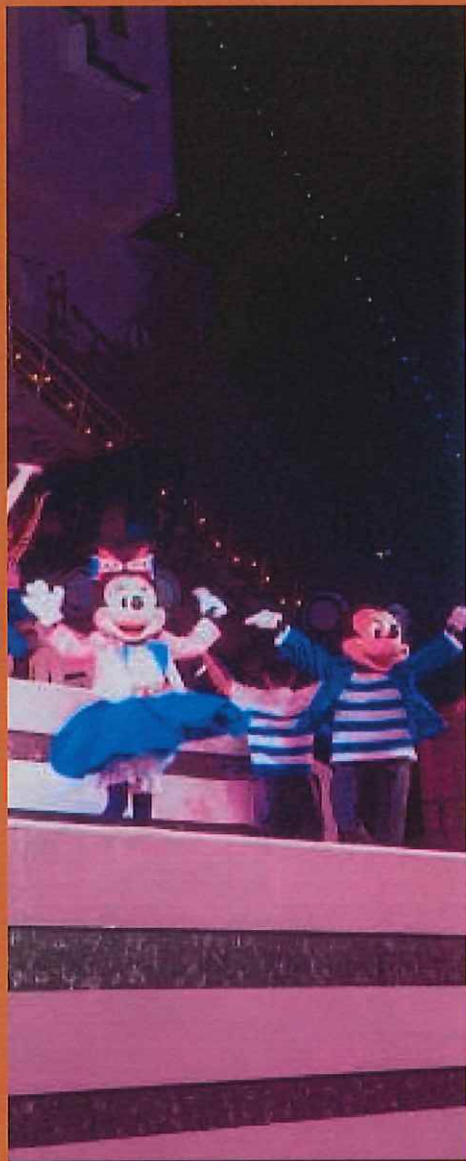


新登場

美羽先生がハマっているのはディズニーとサウナ。

特に好きなのがディズニーとのこと！

サウナについても聞いてみたいところですが、今回はディズニーに関することを教えてもらおうと思います。



もともとディズニーは人並みに好き
でした。

子どもの頃に家族旅行で連れて行っ
てもらったとき、「どうして今日で
旅行終わりなのかな、明日も明後日
もディズニー行きたいのにな…！

いつか沢山ここへ遊びに行けますよ
うに！」と思っていたことをふと思
い出し、今ならその夢が叶えられる
のでは？！と思い立ったことがきっ
かけです！



ショーやパレードの鑑賞が特に大好きです！子ども
の頃のパークでの過ごし方はほぼ全てのアトラクシ
ョンを制覇することだったのであまり興味がありま
せんでした。去年初めて観た「ビリーヴ！〜シー・
オブ・ドリームス〜」というショーに心を動かさ
れ、それ以来はあらゆるショーやパレードの鑑賞を
楽しむようになっていきます！また最近だと海外のパ
ーク情報もSNSを通じて触れる機会が増え、興味
湧いています！夢は大きく、世界の全てのディズニ
ーパークへ行くことが今の目標です！

土日や連休を狙ってパークへ通うこと
を楽しんでいます。それ以外の時間で
も、ディズニー関連(パークグッズ、混
雑状況、新作の映画など)の情報収集
することも日課になっています



一番好きな、おすすめのショーは
先月まで行われていた夏限定の
「ドックサイド・スプラッシュ・
リミックス」です！！今年から開
催されたショーなので、来年以降
行われるか危ぶまれています…
気になる方はぜひYouTubeなどで観
ていただきたいです。水がかかる
ショーなので子ども向けかと思いきや、客席はほぼ大人で埋まっ
ているところがまた良いです(笑)ア
レンジされたジャンボリミッキー
が聴けるのも胸熱です…！



「ディズニーから大事なことを教わっていること・・・ 保育に活かしていきたいこと。」

シンデレラ。あきらめずに信じ続けていればフェアリーゴッドマザーが出て来て願いをかなえてくれるというメッセージ性がとても好き。

掴みたいものは自分で努力して手に入れるもの・・・というメッセージのある物語。そこから吸収できたことを子どもたちにも伝えていけたらいいなと思っている。

クラスの子の中には取り組んでいることにあきらめてしまう子が多い気がするが、あきらめないでやっとうらんとするディズニーで培われた行動理念を保育の中でも伝え、活かしています。

モアナの伝説の海

自信をもっているキャラクター像が印象的。「私は海に選ばれたの!」というセリフに自信を強く感じられます。自分から選ばれたって言えるってすごい自信だと思いました。私自身もそれくらい自身をもっていんだなと感じるようになりました。映画を観た後は不思議と自信を持てるようになったように感じます。ネガティブになったときでも、もう少し自信を持って行動してもいいのかなと思います。

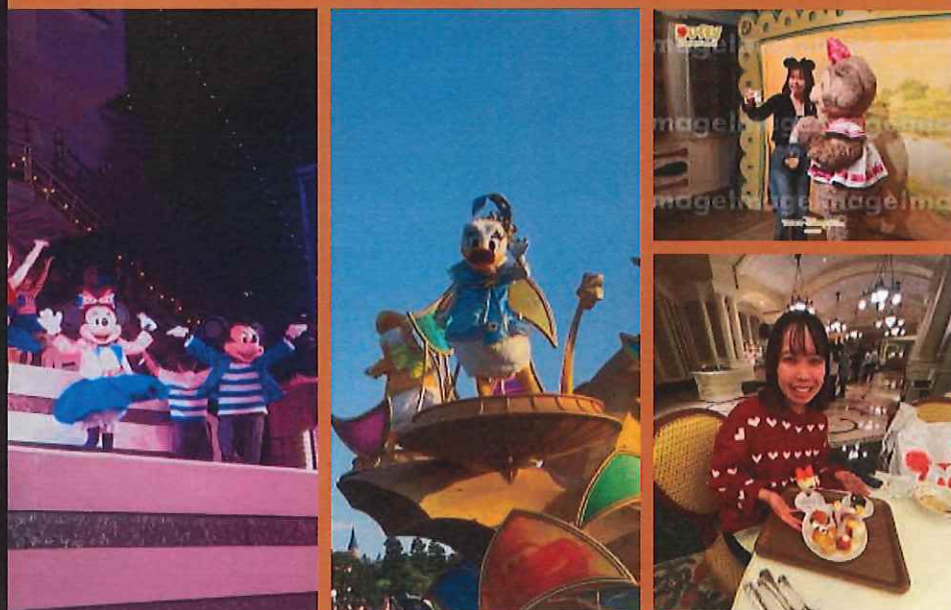
思いがあるなら強く思い続けて行ったらいいという教訓が得られたように思います。

自分の中ではモアナの行動力をリスペクトしているし、子ども達にもモアナのようにチャレンジする力を伝えていきたいと思っています。

ビリーブというショー

エンディングで、ピーターパンとウェンディが語り手、ピーターが「あきらめかけても絶対に信じることを辞めてはいけないんだ」「そうね、あきらめなければ願いはかなうのね」というセリフで感動して涙がとまりませんでした。

ショーのストーリーの中で、他のキャラクターがあきらめているところエルサが鼓舞して切り開いていき、エルサの行動であきらめない心を取り戻した仲間たちにも感動します。シーンごとに、キャラクターごとにエピソードがあり、熱が入りますし、ディズニーはすべてにおいてあきらめない心を教えてもらっている気がします。私が心動かされたように、保育を通して子ども達の心も動かしていきたいです。



こぐま座組

○クラスで大切にしていること○

- ・「やってみたい」の気持ちを育む
- ・「発見」を一緒に楽しむ
- ・色々な「経験」を大事にする

そして担任が子どもたちと毎日楽しく笑顔で過ごす



クラスで行っている取り組み

《 食事の場面 》

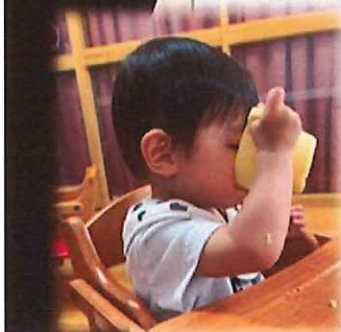
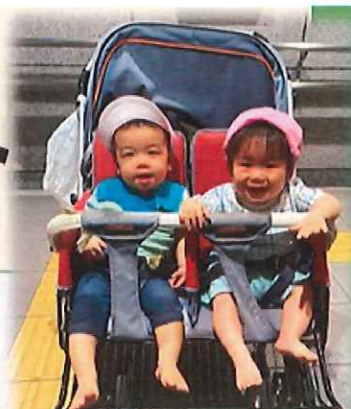
★おやつや給食の際に、スプーンやフォークを使って自分で食べてみたり、まだ持つことに慣れていない子には手づかみ食べをしやすいように小皿を用意してみたり、一人ひとりに合った環境の中で食事への興味や意欲に繋がっています。

★最近ではゼリーやヨーグルト等の蓋を自分で開けてみようとする姿も増えてきました。「自分でやってみよう」気持ちを育みながら子どもたちの姿をたくさん褒めて意欲に繋がっています。保育者も手を添えながらさりげなく手伝って、できた嬉しさを一緒に喜び合っています。

《 遊びの場面 》

★室内や戸外遊び、水遊びを通してたくさんの「経験」を大事にしています。散歩先で見つけた自然物、草木やまつぼっくり等の感触や匂い、芝生を裸足で歩いてみたり、水に触れることの気持ち良さや心地良さなど実際に肌で感じ、子どもたちの気づきや発見に繋がっています。

★室内遊びでも同じで、製作活動を通して様々な素材(絵の具・クレヨン・シール等)に触れてみたり、風船遊びや新聞紙遊びを通して感触の違いや面白さを知ったり、子どもたちが「なんだこれ?」「触ってみたい」「近くで見てみたい」と感じるような経験を一つ一つ大事にし、五感が養われるようにしています。一緒に身体で感じ、共感し合い、「もっとやりたい」と思う気持ちを尊重しながら日々楽しく過ごしています。





体を動かして遊ぶことが
大好きな子どもたち！
これからもたくさんの「経験」を
通して残り半年楽しく
過ごしていきたいと思います♪

